

たはら

令和6年6月6日



田原小 HP

今後の家庭学習の在り方について

今年度は、昨年度の学校評価アンケート結果をもとに授業とのつながりを意識した家庭学習を目指すこととしています。例えば、「授業での学習内容を復習する」「次時の学習内容を予め理解をする」「授業での学習内容から自分の課題を見つけ解決をしていく」などです。1学期の折り返しを迎え、教科担任制の授業では子どもの「いい顔」が増えてきています。子どもの実態も徐々に把握でき、家庭学習の在り方について具体的に検討を進めてきました。以下に具体的な家庭学習について記載します。

- **教科担任が学習内容に応じて必要な家庭学習（教科書の本読み、書き取り、国語ドリル、計算ドリル、プリント、eライブラリーなど）を実施**します。発達段階によって家庭学習の量や質に異なりがあります。
- 1・2年生は、文字を覚えたり、文章を読む力を高めたりするために継続した本読みの学習を行います。
- **家庭学習に「自主勉強」を取り入れます。**自主勉強の内容については、6月中旬に「自主勉強 WEEK」を設定し、窓口担任や教科担任から子どもたちに説明があります。授業と家庭学習のつながりをより意識したり、発展的な学習にチャレンジしたりなど学力向上を目的とします。
- 「自主勉強」で使用するノートは、お子さんと家庭で話し合い、学習しやすいノートを家庭で購入していただきます。なお、すでに自主勉強を進めている子は現在使っているノートをそのまま使ってください。また、どんなノートがよいのかについては、「自主勉強 WEEK」で担任または教科担任からお子さんに説明をします。
- **「学習足あとカード」を使用し、どんな家庭学習を行ったかを記録していきます。**記録の仕方は学年によって異なります（詳細は各学年からお知らせがあります）。この記録を通して、家庭学習の習慣を身につけることや自分で計画的に学習ができるようにすることを目的とします。**※裏面参照**
- 「学習足あとカード」は子ども自身が家庭学習の記録をするとともに、気軽に家庭と学校との連絡をすることもできるようになります。



()月 学習足あとカード

名前

日	曜日	家庭学習(内容・時間など)	担任	連絡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				

これは高学年の形式です。
下学年は、この形式をもとに学年にあった内容となります。
右にある「連絡欄」を使って家庭と学校が連絡を取り合えるようにします。